

(社会資本総合整備計画 (活力創出基盤整備) 事後評価書

平成28年3月9日

計画の名称	3 生活者の視点に立った暮らしやすい生活環境の創造									
計画の期間	平成21年度 ~ 平成25年度 (5年間)				交付対象	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、昭和町、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村、丹波山村				
計画の目標	バリアフリー化による移動の安全と利便性の向上、人にやさしい歩道や交通の充実、道路利用者の利便性向上、良好な景観及び住みやすい環境の形成と併せて、安全安心・災害に強いまちづくり、観光の振興による暮らしやすい生活環境を創造する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	生活にやさしい道路の利用増加人数を、13178人/日 (H25)まで向上。									
定量的指標の定義及び算定式	生活にやさしい道路の利用増加人数を、H17センサスを利用し算出する。 ・生活にやさしい道路の利用増加人数 (人/日) = Σ (整備した道路の歩行者数及び自転車利用者数)									
定量的指標の現況値及び目標値	当初現況値 (H21当初)			中間目標値 (H23末)			最終目標値 (H25末)			備考
	-			6754 (人/日)			13178 (人/日)			
	算出結果			7623 (人/日)			16671 (人/日)			
全体事業費	合計 (A+B+C)	20,996 百万円	A	17,641 百万円	B	10 百万円	C	3,345 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	15.9%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	交付期間終了後
山梨県において各交付団体における目標の達成状況やその要因の確認を行い事後評価を実施	公表の方法
	ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
3-A1	道路	一般	甲府市	直接		市町村道	改築	市道新油川橋線	歩道橋新設 0.07km	甲府市						150	
3-A2	道路	一般	甲府市	直接		市町村道	交安	市道紅梅北通り線	歩道整備 0.10km	甲府市						35	
3-A4	道路	一般	甲府市	直接		市町村道	改築	市道金塚西(1)線	現道拡幅 0.47km	甲府市						910	
3-A5	道路	一般	甲府市	直接		市町村道	交安	市道下曾根2247号線	歩道整備 0.25km	甲府市						339	
3-A6	道路	一般	甲府市	直接		市町村道	改築	市道宮原2号線	現道拡幅 0.12km	甲府市						535	
3-A7	道路	一般	甲府市	直接		市町村道	交安	市道朝日荒川線	自転車走行環境整備 0.60km	甲府市						37	
3-A8	道路	一般	甲府市	直接		市町村道	交安	市道鑄物団地内線	現道拡幅 0.40km	甲府市						20	
3-A9	道路	一般	富士吉田市	直接		市町村道	改築	市道新倉南線	現道拡幅 0.08km	富士吉田市						12	
3-A11	道路	一般	都留市	直接		市町村道	改築	市道古川渡田野倉線	橋梁改築 0.06km	都留市						430	
3-A12	道路	一般	都留市	直接		市町村道	改築	市道側道古川渡東桂線	バイパス 0.40km	都留市						44	
3-A13	道路	一般	都留市	直接		市町村道	改築	市道栄町四日市場線	バイパス 0.25km	都留市						23	
3-A19	道路	一般	山梨市	直接		市町村道	改築	市道小学校前南線	現道拡幅 0.05km	山梨市						12	
3-A25	道路	一般	大月市	直接		市町村道	改築	市道側子藤沢線	バイパス 0.30km	大月市						127	
3-A26	道路	一般	大月市	直接		市町村道	改築	市道藤沢線 (富士見沢橋)	橋梁改築 0.05km	大月市						280	
3-A27	道路	一般	大月市	直接		市町村道	改築	市道美咲2号線	現道拡幅 0.06km	大月市						60	
3-A28	道路	一般	大月市	直接		市町村道	交安	市道富浜中学校線	歩道拡幅 0.20km	大月市						30	
3-A29	道路	一般	大月市	直接		市町村道	修繕	市道福寿西線	橋耐震補強 0.06km	大月市						100	
3-A30	道路	一般	韮崎市	直接		市町村道	改築	市道徳坂97号線 (第1期)	バイパス 0.70km	韮崎市						390	
3-A31	道路	一般	韮崎市	直接		市町村道	改築	市道徳坂97号線 (第2期)	バイパス 1.40km	韮崎市						50	







3-C42	活動支援	一般	身延町	直接		防災	消防車購入事業	消防車購入12台	身延町									69
3-C43	計画・調査	一般	南部町	直接		観光案内情報提供	道路等情報発信事業	観光ロードマップ作成・配付 (15,000部)	南部町									2
3-C45	施設整備	一般	南部町	直接		道の駅	道の駅整備事業	※4	南部町									200
3-C47	計画・調査	一般	道志村	直接		観光案内情報提供	道路等情報発信事業	観光ロードマップ作成	道志村									3
3-C48	計画・調査	一般	西桂町	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	尻尾橋外 14橋	西桂町									4
3-C49	計画・調査	一般	忍野村	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	10橋(15m以上)、46橋(15m未満)	忍野村									7
3-C50	計画・調査	一般	鳴沢村	直接		観光案内情報提供	道路等情報発信事業	観光ロードマップ作成・配付	鳴沢村									2
3-C52	計画・調査	一般	小菅村	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	余沢橋外 26橋	小菅村									3
3-C56	計画・調査	一般	大月市	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	塩瀬大橋外221橋	大月市									31
3-C59	計画・調査	一般	甲斐市	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	31橋(15m以上)、116橋(15m未満)	甲斐市									39
3-C64	計画・調査	一般	富士吉田市	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	33橋(15m以上)、131橋(15m未満)	富士吉田市									26
3-C65	計画・調査	一般	山梨市	直接		防災	消防自動車購入事業	消防車購入	山梨市									200
3-C66	計画・調査	一般	南アルプス市	直接		防災	冠水対策事業	沈砂地設置工	南アルプス市									25
3-C67	計画・調査	一般	北杜市	直接		計画・調査	道路整備計画	道路網整備検討	北杜市									3
3-C68	計画・調査	一般	身延町	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	87橋(15m以上)、48橋(15m未満)	身延町									21
3-C69	計画・調査	一般	道志村	直接		道の駅	道の駅整備事業	駐車場増設	道志村									12
3-C70	計画・調査	一般	鳴沢村	直接		道の駅	道の駅整備事業(駐車場改修)	駐車場増設	鳴沢村									12
3-C72	計画・調査	一般	丹波山村	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	7橋(15m以上)、3橋(15m未満)	丹波山村									3
3-C73	計画・調査	一般	甲斐市	直接		計画・調査	道路整備計画策定	道路網整備検討	甲斐市									13
3-C74	景観・修景	一般	山梨市	直接		景観・修景	案内標識板補修工事	案内看板等の補修	山梨市									15
3-C75	計画・調査	一般	南部町	直接		防災	消防車購入事業	消防車 5台	南部町									85
3-C76	計画・調査	一般	昭和町	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	3橋(15m以上)、75橋(15m未満)	昭和町									5
合計																	3,345	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
3-C3	現行の有線回線を無線(デジタル送受信)に整備することにより、情報線の寸断を防止し、双方向通信による情報収集も可能となるため、防災、被災情報や災害時の道路、交通情報を地域住民に対し、即時的、安定的に供給できる	
3-C4	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C5	道路交通の骨格を形成する幹線道路の役割分担やネットワークの形成及び地域内道路、生活道路の整備方針等に関する計画を策定し安全安心の生活を創造する。	
3-C6	大型バス駐車場と導入路を整備し、路上に駐車する大型観光バス等を排除することにより道路交通の円滑化を図られる。	
3-C7	児童生徒の通学時の安全性を向上・確保することを目的に、シートベルト装着可能な子供用座席型の車輛を導入し高機能化を図る。	
3-C8	市内観光に寄与するパンフレットを作成し、官民の観光資源等と文化財をロードマップとして整備することにより、道路利用者の利便性向上を図る。	
3-C9	災害時緊急輸送路及び市内避難経路となる道路沿いにある公共施設について、耐震診断及び耐震補強工事を実施し倒壊等による道路の閉塞被害を未然に防ぐことにより通行者の安全性の向上を図る。	
3-C10	防災庫を有しない4地区において、年次計画により年に1箇所づつ、災害時における道路応急補修資機材を備蓄することにより、最低限の交通の確保、被害の拡大を防止を図る。	
3-C11	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C12	市内主要道路改築に伴いドライバーの休憩所となる展望広場を設置し道路利用の促進と利便性の向上を図る。	
3-C13	市内防災マップを作成し避難経路を周知することにより、安心安全な生活を向上させる	
3-C14	ボランティア等に、ほうき・スコップなどの清掃用具及びバリケード・蛍光ジャンパーなどの安全資材の購入支援することにより、協働による快適な道路環境を確保する。	
3-C15	GISの導入により、ライフラインと一体的な道路台帳を整備することにより、災害復旧の迅速な対応が期待できる。	
3-C16	雨水渠を整備し河川に放流することにより、穂坂97号線及びその周辺の雨水を効率良く排除でき、下流域の災害等の未然防止の役割を果たす。	
3-C17	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C19	橋梁長寿命化修繕計画の効率的・効果的な展開を図ることを目的として交通量等の実態調査(市道6号線他15路線)を行う。	
3-C20	観光資源の紹介と併せたロードマップを作成することにより、道路利用の促進と利便性向上を図りたい。	
3-C21	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C22	台風、ゲリラ豪雨時に起こる道路冠水や家屋の浸水などの被害を防ぎ道路利用者等の安全を確保する	
3-C26	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C27	市道田富2029号線(3-A75)改築と併せ、JR東花輪駅前の一体的整備の実施により利用者の利便性の向上を図る。	
3-C30	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C32	災害時に道路が寸断された際に、孤立した集落との代替の交通手段の確保する。	
3-C33	町の合併時に2町の防災無線を統合し、災害時の道路災害状況等を新町全域に情報提供する。	
3-C34	2町の合併に伴い道路案内標識等の表示内容を改善することにより道路利用者の利便性を図る。	
3-C35	台風、ゲリラ豪雨時に起こる道路冠水や家屋の浸水などの被害を防ぎ道路利用者等の安全を確保する	

3-C36	道路等の被災時に作業協力する消防団員の作業環境の向上と安全確保。	
3-C38	道路の隣接地を防災広場として整備し、山間集落の避難場所の確保すると共に、通常時には町営バスの巡回場所として利用し地域住民の安心、安全、利便性を図る	
3-C39	学校の統廃合における児童生徒の通学の安全確保及び、過疎化した地域間交通の利便性を図る。	
3-C40	児童生徒の通学時の安全性を向上・確保するため、急勾配の道路や、降雪時の走行も可能となるよう四輪駆動のパトロール車を導入し高機能化を図る。	
3-C41	観光資源の紹介と併せたロードマップを作成することにより、道路利用の促進と利便性向上を図りたい。	
3-C42	異常気象時における地域の道路パトロールや、道路冠水等の排水を行うなどの道路災害復旧活動を迅速に行うことを目的に、20年以上使用し老朽・機能低下の著しい車輛について高機能化を図る	
3-C43	中部横断自動車道の開通や周辺整備により、新たな県内外の集客が見込めるため、観光ロードマップを作成し地元の紹介を幅広く効果的に行う等道路利用者の利便性向上を図る。	
3-C45	中部横断自動車道の開通にあわせ、道路利用者の新たな「道の駅」の整備がインター付近に計画されているため、当施設用に水源の確保等を図り、道の駅の新築を効率的に行う。	
3-C47	観光資源の紹介と併せたロードマップを作成することにより、道路利用の促進と利便性向上を図りたい。	
3-C48	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C49	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C50	観光資源の紹介と併せたロードマップを作成することにより、道路利用の促進と利便性向上を図りたい。	
3-C52	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C56	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C59	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C64	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C65	異常気象時における地域の道路パトロールや、道路冠水等の排水を行うなどの道路災害復旧活動を迅速に行うことを目的に、老朽・機能低下の著しい車輛について高機能化を図る	
3-C66	台風、ゲリラ豪雨時に起こる道路冠水や家屋の浸水などの被害を防ぎ道路利用者等の安全を確保する	
3-C67	今後の交通環境の変化を踏まえつつ基幹的な交通体系の形成に取り組み、広域交通ネットワークから市内へのアクセス性を向上するため市内に誘導する道路網整備計画を策定する。	
3-C68	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C69	道の駅の駐車場を増設することによって、道路利用の促進と利便性の向上を図る。	
3-C70	道の駅の駐車場を増設することによって、道路利用の促進と利便性の向上を図る。	
3-C72	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	
3-C73	今後の交通環境の変化を踏まえつつ基幹的な交通体系の形成に取り組み、広域交通ネットワークから市内へのアクセス性を向上するため市内に誘導する道路網整備計画を策定する。	
3-C74	市町村合併に伴い地域名等変更の対応がされていない箇所や案内看板を補完し、地域内交通の分散や沿道地域及び観光車両や地域外の道路利用者の利便性を向上し、地域交通環境の改善を図るものである。	
3-C75	災害復旧活動の時間短縮が図られる道路整備と一体的に実施することにより、異常気象時における地域の道路パトロール範囲や消火活動範囲が改善され、道路冠水時等の排水対策のほか、車輛の高機能化を図ることで、地域の安心安全な住民サービスの向上に寄与する。	
3-C76	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため長寿命化修繕計画を策定することにより、長寿命化に係る経費の縮減と地域道路網の安全性・信頼性を確保する。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村道のバイパス整備や現道拡幅等を行った結果、道路利用者の利便性が向上した。</li> <li>・歩道整備を行うことにより、地域住民や観光客など歩行者の安全性が向上した。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（道路の 利用増加人数）	最終目標値	13,178人／日	目標値と実績値 に差が出た要因	施工中の路線についても部分供用し、道路利用者を増加することができたため。
		最終実績値	16,671人／日		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>今後の方針として、未着手の箇所については、早期に事業着手できるよう検討・調整を進め、事業継続中の箇所は早期供用できるよう事業進捗を図る。</p>					